

職員紹介

～ 入省2年目を振り返って ～

入省2年目を迎えた「池田技官」ですが、現場での業務等について、これまでの感想を聞いてみました。

氏 名：池田 翔

所 属：保全計画課保全計画係

令和3年度より北奥羽土地改良調査管理事務所に配属となりました、池田翔と申します。

今年度は入省2年目になりますが、初年度は東北農政局農村振興部防災課で、南相馬・請戸川地区の災害復旧事業や防災情報ネットワーク事業の予算執行状況及び各種報告物の対応を担当していました。

北奥羽土地改良調査管理事務所保全計画課での私の担当は、主に国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業の機能診断業務です。機能診断業務は土地改良施設の状態や十分な役割を果たしているかを評価し、今後どのように管理、改修していくか等の計画を策定する業務です。専門的な知識が浅く、その都度基準や事業誌をみて調べたり、上司に質問したりしながら積算や発注及び監督業務を行っています。

また、出身は青森県十和田市ですが、津軽地方にはほとんど来たことがなく、弘前での暮らしを新鮮に感じています。プライベートでは有名な桜祭りや深浦町にある十二湖の青池を見に行きました。桜祭りは言わずもがなですが、青池は透明で青く澄んだ色をしていてとても神秘的なので、もし近くを訪れる機会があれば是非行ってみたいと思います。ねぷた祭りはまだ行ったことがないので、コロナ禍が収まり、開催した際は必ず行きたいと思っています。まだまだ津軽地方の魅力に触れていませんが、ゆっくり弘前での生活を満喫していきたいと思っています。



写真-1 排水ポンプの振動調査立会いの様子
(R3 潤滑油採取業務)



写真-2 ゲート開閉確認立会いの様子
(R3 機能保全計画策定業務)

	編	集	後	記		
--	---	---	---	---	--	--

災害はコロナ関連だけに止まらず、県内では8月のお盆前に温帯低気圧が南部地方を襲い、生活インフラの破壊や農地の大規模冠水など、広範な地域に甚大な被害をもたらしました。一方の津軽地方では降雨が少なく渇水対策（準備体制）を執るなど、近年における気象変動の激しさを物語っています。

今後 30 年先を見据えた地域営農の姿や災害に強い施設のあり方等について、皆さんとの対話と議論を重ね、共に次世代の農業を創造していきたいと考えています。



東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所

〒036-8214 青森県弘前市新寺町149-2

TEL 0172 (32) 8457 FAX 0172 (35) 3490

H P : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitaouu/index.html>

この印刷物は、印刷用紙などの紙へのリサイクルに適した資材のみを用いて制作しました。

農林水産省

令和3年12月作製